

令和8年2月10日

報道関係者 各位
PRESS RELEASE



和歌山県・紀の川市

市内初

ドローンによる物資輸送訓練を実施します！

～地域の防災拠点を最大限活かしたドローンを用いた防災訓練～

和歌山県紀の川市（市長：岸本 健）は、ソフトバンク株式会社（本社：東京都港区、以下「ソフトバンク」）と共に、ドローンの社会実装を目的とした産官学の多様な主体が参画する「紀の川市ドローン社会実装推進コンソーシアム」を運営しています。

本コンソーシアムでは、ドローンの社会実装を目指しており、物流・防災・農業の3分野にワーキンググループを設置し、各分野におけるドローン活用の検討・推進を図っております。

この度、防災ワーキンググループの活動の一環として、市が実施する防災総合訓練の日に合わせ、地域の防災力強化に向けた物資輸送訓練を実施いたしますので、報道機関の皆様にお知らせいたします。

【開催概要】

- 日程 : 令和8年2月15日(日) 14時30分～
- 場所 : 紀の川市役所鞆淵出張所(住所:和歌山県紀の川市中鞆淵 1634 番地 1)
- ポイント : 地域の防災拠点として新たに開設した鞆淵出張所を起点に、市内初のドローンを用いた防災訓練を実施
- 主な内容: ・ドローンスタンド®(※1)や遠隔運航(※2)等の技術を用いた実証の実施。
 - ・フェーズフリー(平時・有事)なドローン活用の実証。
 - ・有事想定での、医薬品や衛生用品等の物資輸送。
 - ・ドローン搭載カメラによるリアルタイム映像の確認。

有事の際、人員が不足することを想定し、飛行ルートと離発着ポイントを事前に設定することで、より省力化を図った飛行を実証します。

防災総合訓練を通じて、地域住民や関係者の皆さまにドローンの活用可能性を実感していただくことで、ドローンの社会受容性の向上を図ります。これを機に、ドローンの社会実装に向けた取組を一層加速させて参ります。

<実証の計画について>

● シナリオ

- ・ 平時に運航している中山間集落向けのドローン定期便(日用品や食品等の配送)を基盤に、有事の際(中山間集落の孤立等)に、同じ運用・ルートを活用して、医薬品や衛生用品などの緊急物資を迅速に届ける。

● 飛行計画について

- ・ 鞆淵出張所から下鞆淵集会所までの約1.6kmを往復飛行します。
- ・ 国産機のドローンを用い、医薬品や衛生用品に見立てた物資を空輸します。
- ・ ドローンはレベル 3.5 で飛行させ、離着陸時の運用省力化を実現するために簡易のドローンスタンド®を用います。



<実証のスケジュール>

■フライト 1 回目(14:30-14:45)

鞆淵出張所 → 下鞆淵集会所

- ・カメラ映像の確認
- ・事務局からの概要説明

■フライト 2 回目(15:00-15:15)

下鞆淵集会所 → 鞆淵出張所

- ・置き配機能の見学
- ・ドローンスタンド®の実演

※1 株式会社エアロネクスト開発のドローンスタンド®

第三者が侵入する懸念のあるドローン離発着地点において、監視カメラ及びドローン離発着時のアナウンス機能を搭載した安全管理(立入管理)機能を有する設備のこと。

※2 遠隔運航について

目視外自律飛行を実現するための運航管理システムを活用することで、事前に作成した飛行ルート及び飛行計画に従い遠隔監視・遠隔操縦によるドローン運航を実現しています。

【本件に関する問い合わせ先】

和歌山県 紀の川市役所 企画部企画経営課 担当:西端・森本

TEL:0736-77-2511 FAX:0736-77-2511 E-MAIL:k030600-001@city.kinokawa.lg.jp



笑顔で
歩んだ20年
輝く未来へ
紀の川市